自殺実態プロファイルのまとめ

資料１

１．自殺者数の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 5年間計 | 5年間平均 | 2024（暫定） |
| 嘉麻市 | 6 | 8 | 6 | 2 | 6 | 28 | 5.6 | 7 |
| 飯塚医療圏 | 39 | 31 | 27 | 28 | 32 | 157 | 31.4 | 43 |
| 福岡県 | 816 | 884 | 914 | 890 | 948 | 4,452 | 890.4 | 849 |
| 全国 | 19,974 | 20,907 | 20,820 | 21,723 | 21,657 | 105,081 | 21,016.2 | 20,061 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　「地域における自殺の基礎資料（厚生労働省）」

* 第２次嘉麻市自殺対策計画数値目標（計画書P3）

令和５年～令和９年の５年間の自殺者総数　：　２０人以下

２．自殺死亡率（人口10万対）の推移

①

５年間の自殺死亡率の平均の推移としては、総数、男女ともに全国、福岡県と比べて高い位置を推移していましたが、徐々に低下し、県や全国と変わらない自殺死亡率までになっています。

３．年代別の自殺死亡率の推移

性別・年齢別の５年間平均の自殺死亡率を棒グラフで表しています。

男性は、2019～2023においては４０代以外で2017～2021よりも低下しています。これは、2023年が2名と少数であったことによるものと考えられます。2013～2021年までの結果において20代、70代において自殺死亡率が上昇傾向です。

３．自殺の原因　（地域における自殺の基礎資料）

４．嘉麻市の自殺の概要

　　職の有無、同居の有無での自殺者の割合を比較と推移。

男性の有職者では、同居の方の割合が高くなっています。無職者では４０歳以上では独居の方の割合が高いくなっています。推移でみると、６０歳以上で有職者の同居の割合が低下しています。

女性の場合は、人数が少ないためあまり比較はできませんが、６０歳以上の無職で同居者ありの方の割合が低下しています。

５．嘉麻市の自殺の特徴の比較

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 2019～2023 | | | 2013～2017 | | |
|  | 自殺者の特性上位5区分 | 割合 | 自殺死亡率 | 自殺者の特性上位5区分 | 割合 | 自殺死亡率 |
| １位 | 男性、６０歳以上、無職、独居 | 14.3％ | 81.6 | 男性、６０歳以上、無職、独居 | 14.8％ | 209.4 |
| 2位 | 男性、60歳以上、有職、同居 | 14.3％ | 37.6 | 男性、40～59歳、有職、同居 | 14.8％ | 60.1 |
| ３位 | 男性、40～59歳、有職、同居 | 10.7％ | 22.0 | 男性、60歳以上、無職、同居 | 14.8％ | 51.7 |
| ４位 | 男性、60歳以上、無職、同居 | 10.7％ | 19.1 | 女性、60歳以上、無職、同居 | 8.2％ | 17.8 |
| ５位 | 男性、40～59歳、無職、独居 | 7.1％ | 331.6 | 女性、40～59歳、無職、同居 | 6.6％ | 48.6 |

６．嘉麻市の自殺の特性の評価の推移





自殺者１人の増減で、ランクが変化する上ではありますが、推移からみると全国での自殺死亡率のランクは低下しています。